

お問い合わせ先



案内パネルの前で
記念撮影

広報チームと大石千尋さんが向かったのは、リージョンプラザで開催中の三原市の文化財展「文化財を守り伝える」。きつかけは、「小早川隆景さんってどんなお顔だったんだろう」という大石さんの一言。「今なら、絶好の場所がありますよ」とやって来ました。

会場を迎えてくれたのは市学芸員の松田英之さん。「歴史的・文化的に価値のある文化財をたくさん展示してありますよ」と、館内を案内してくれました。展示のテーマは「保存と継承」。以前の修復で塗られてしまった色をきれいに落とし、本来の色に戻った仏像。虫に食べられ、かろうじて顔と胴体部分が残っていた人物画を修復した絵巻物が。こうやって文化財は受け継がれていくんですね」と大石さん。他にも三原城跡からの出土品なども展示されています。

そして、ようやく目的地の小早川隆景画像へ。「これが隆景さんの顔。頭の良さがうな顔ですね」と見



ここがお豆腐屋さん
ある通りかな？

文化財展は12日(月)まで開催中です。なかなか見ることの出来ない文化財がたくさんあります。ぜひ、行ってみてくださいね。 ※館内は撮影できません。取材当日は、特別な許可を得て撮影しています。

文化課(展示会について)

☎0848-649234
築城450年事業推進担当室
☎0848-610450

三原の光を観よう、
魅せよう。…… 6



瀬戸内三原
築城450年事業



県立広島大学
作業療法学科2年
大石千尋さん

「ふるさと三原を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。」



この部分が修復されたのが、じっくり見ます

大きな旧城下町の絵図には隆景さんの築いた三原城も描いてあります。「江戸時代の三原はお寺が多いですね。小路もたくさんと驚く大石さんに「絵図と見比べながら、現在の町並みを歩くのも面白いですよ」と松田さん。

つめる大石さん。



「宗光寺所蔵…。普段は公開されていないので興味。約420年後にこうやって見られてるって、隆景さんは想像してましたかね？」と大石さん。「僕には分かりませんが、途方もない長い年月を守り伝えられている大切な作品です」と松田さん。

あ・と・が・き
シャイアントキリング(番狂わせ)。予期しない事態で、物事が順番どおりに進まなくなる。スポーツでは、戦力や過去の実績で劣る者が、予想に反して強者に勝利すること。先月、世界中を駆け巡ったこの言葉。ラグビーW杯で日本が優勝候補、南アフリカを破ったから。世界がこの勝利を「ラグビー史に残る奇跡」と評価しました。指揮官はこの試合に照準を当て、相手进行分析し、練習メニューを組み、チームに落とし込んだそう。それを大舞台で見事に実行した選手。奇跡は努力の積み重ねの上に舞い降りるものなのです(Ｓ)

税金などの納期 (普通徴収)

- 市県民税(第3期)
 - 国民健康保険税(第4期)
 - 介護保険料(第4期)
 - 後期高齢者医療保険料(第4期)
- 納期限 11月2日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
1日(木)・8日(木)・15日(木)・22日(木)・29日(木)

航空機の騒音測定結果(8月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=49.1 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.8

三原市の人口(8月31日現在)

世帯数	44,104	世帯(+193)
人口	98,177	人(-673)
男	46,917	人(-313)
女	51,260	人(-360)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。